

スティーブ・ジョブズ氏のスピーチから学ぶ

昨年、PIARC（世界道路協会）の冬期サービス委員会の委員になり、委員会に数回出席しています。会議自体は英語で行われており、あまり聴き取れない事があり、リスニング力の増強の必要性を強く感じました。インターネットで調べると、様々な英語の素材がダウンロードができることが分かり、いくつか素材を調べるうちに、アップル社の創業者の一人である、スティーブ・ジョブズ氏が2005年6月12日に米国スタンフォード大学で行ったスピーチに出会いました。

実は、このスピーチはかなり有名で、ご存じの方も多いかもかもしれません。彼は、スピーチの冒頭で、聴衆の学生達に「これから3つのストーリーを話します」と語ります。「点と点をつなぐ」、「愛と敗北」、「死」の3つです。ここでは、最初のストーリー「点と点をつなぐ」だけを紹介したいと思います。

ご存じのように、現在、私たちがの使っているパーソナル・コンピュータのインターフェース（操作画面）の原型は、アップル社のマッキントッシュにあります。この様な製品を開発できた要因として、彼は、大学を退学した後に、潜り込んだカリグラフィー（西洋書道）の授業だと言います。そして「後から振り返ると、カリグラフィーとパソコンが繋がったことが分かるが、先々のことまで読んで点と点を繋げることは、当時は分からない。だからこそ、バラバラの点が、将来、必ず繋がっていくと信じなくてはならない」と語ります。勝手に解釈するならば、私たちの研究においても、様々な個々の要素（研究）が太い線や細い線で繋がることで、一つの大きな成果が得られるとも言えるでしょう。

そして、最後に、彼は、次の言葉を引用してスピーチを終えています。「Stay hungry, stay foolish. (ハングリーであれ。愚かであれ)」。・・・夕食も取らずに残業して空腹。疲れて頭は朦朧と言うことですね。（多分、解釈、間違えていますよ！）

（雪氷チーム上席研究員 松澤 勝）

* * * *

表紙左上記号 ISSN 1881-0497の説明

国際的なコード番号である ISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号)は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館 ISSN 日本センターから付与されたものです。